

目黒区民センター見直し検討に係る平成30年度の取組について

1 経緯

目黒区民センターについては、平成29年6月に策定した目黒区有施設見直し計画（以下、「計画」という。）の中で、区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして多角的に検討することとしており、「検討の方向性」を次のとおり示している。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ①区の施策推進のために必要な施設機能の精査 | ⑤目黒駅周辺地区街づくりとの関係 |
| ②複合施設としての目黒区民センターのあり方 | ⑥周辺施設との複合化 |
| ③改修等の手法（民間活力の活用等） | ⑦既存建物の耐震面での対応 |
| ④都市計画上の制約 | |

今後の検討を進めていくに当たっては、上記の方向性を踏まえながら、より高度かつ専門的で自由な発想や提案の可能性を視野に入れた取組が求められる。

2 今後の検討に当たっての考え方

目黒区民センターに関する見直し検討は、計画に掲げる「検討の方向性」を踏まえつつ、機能の複合化、多機能化に関する検討や効果的な土地活用、民間活力の積極的な活用等、幅広い検討を目指す。

3 30年度検討におけるアドバイザー業務委託

30年度は、新設した専管組織を中心とした検討の中で、目黒区民センターの現状を分析し、採り得る方策と課題を整理する。あわせて、今後の具体的な取組に向けたサウンディング調査（※）等の検討を行う。こうした検討をより専門的で実効的なものとするため、高度な技術力、企画提案力、豊富な業務経験等を有する事業者、区の検討作業や資料作成に係る支援業務を委託する。

事業者の選定に当たっては、企画提案、専門性、実績等を含めた総合的な判断により最適な業者を選定するため、プロポーザル方式に基づく業者選定を行う。

委託内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目黒区民センターの機能・役割、施設や設備の課題整理 ・ 既存施設（周辺施設含む）の複合化・多機能化に関する方策とその課題整理 ・ 民間活力の活用を検討する際の方策とその課題整理 など
----------	---

（※）土地の有効活用に向け、民間事業者との対話を通して広く意見、提案を求め、市場性等を把握する調査。

4 検討体制と検討イメージ

年度	30年度	31～32年度	33年度以降
計画	課題整理	基本的な方向性検討	具体的な取組
専管組織 及び 庁内検討	<ul style="list-style-type: none"> ○機能・施設等の課題整理 ○採り得る方策と課題整理 ○サウンディング調査等の 検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○サウンディング調査等（事 業者ヒアリング、事業者ア イデア検討） ○整備に向けた基本的な考 え方の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○整備提案募集
アドバイザー 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○各種検討に当たっての支 援 		

※ 議会報告、住民参加手続き等は適宜実施する。

5 今後の予定

平成30年4月中 事業者募集開始
7月中 契約締結

以 上

目黒区民センターの建物

目黒区民センターの建物は、A棟、B棟、C棟、D棟、美術館の5つから成り、A棟、B棟、C棟、D棟は昭和49年の建築（平成28年度末で築後42年）、美術館は昭和62年の建築（平成28年度末で築後30年）です。

区民センター（建築年月日：昭和49（1974）年7月9日、延床面積：16,538.52㎡）		
A棟（地上8階、地下2階）	勤労福祉会館	1,598.28㎡
	中小企業センター	6,286.67㎡（中小企業センターホールを含む）
	消費生活センター	753.49㎡
	社会教育館	1,065.68㎡
B棟（地上5階、地下2階）	体育館	4,188.24㎡
C棟（地上3階、地下3階）	中小企業センターホール	—
D棟（地上2階、地下1階）	児童館	1,306.74㎡（学童保育クラブを含む）
	図書館	1,339.42㎡
美術館（建築年月日：昭和62（1987）年3月31日、延床面積：4,059.21㎡）		
美術館（地上2階、地下1階）		4,059.21㎡

《土地の状況》 敷地面積 21,313.05㎡（区民センター敷地 11,527.61㎡、区民センター公園敷地 9,785.44㎡）

